




ハーセプチン（3週毎）＋ドセタキセルの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2～21日目
ハーセプチン (トラスツマブ) mg	 初回は90分、 2回目以降は30分	お休み
吐き気止め	 30分	
ドセタキセル (ドセタキセル) mg	 120分	

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後8～11日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。



血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

心障害

心障害の主な初期症状として、階段や坂道をのぼるだけでも息苦しさをを感じる、疲労感が続く、咳が多くでる、手足にむくみが生じるなどの症状があります。

⇒上記のような症状が気になる場合、心臓の病気の既往がある場合は、お知らせ下さい。また定期的に心臓の検査を行います。

〈ご自身でわかる副作用〉

脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2～3週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

発熱

抗がん剤点滴中～点滴後、一時的に熱が出る場合があります。点滴した日の翌日までに出ることが多いです。

⇒必要に応じて解熱剤を使うことがあります。主治医の指示に従って服用して下さい。

倦怠感

食欲不振

治療開始後翌日から食欲が落ちることがあり、吐き気止めで対応することがあります。多くの方が一週間ほどで回復します。

⇒無理をせず、消化の良い物や食べられそうな物をとるようにして下さい。

下痢

浮腫

顔や手足がむくむことがあります。次第に良くなることもありますが、症状が辛い場合や痛みを伴う場合は、主治医に相談して下さい。

口内炎

皮疹、皮膚炎

爪の変形

爪の形が変形あるいは変色したり、割れやすくなる場合があります。

⇒日ごろから爪を観察し、長く伸びないように手入れをするよう心がけて下さい。

インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒解熱剤を服用することがあります。2回目以降はほとんどの方で症状が軽くなるので、その後も継続して投与が可能です。

★すぐに連絡をいただきたい副作用



- ★「動くと息が苦しい」、「疲れやすい」、「足がむくむ」、「急に体重が増えた」（心障害）
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。